

国立劇場 美術品等保存・展示環境に関する現況及び課題等調査業務

概要報告書

令和3年6月30日

目 次

1. ホール等の展示環境に関して・・・・・・・・・・ 1
2. 収蔵庫の保存環境に関して・・・・・・・・・・ 5
3. 美術品等の維持管理に関して・・・・・・・・・・ 7
4. 整備事業実施時における美術品等の扱いに関して・・ 8

添付資料

- ① 絵画等設置環境確認リスト
- ② 絵画等設置環境確認キープラン

1. ホール等の展示環境に関して

1-1. 概論

美術作品の展示に際しては、作品の素晴らしさを可能な限り引き出す「見せ方」と、作品の価値を継承する保護対策の両面に配慮する必要があります。一般的に以下の項目に留意が必要です。

【見せ方】

- ・ 作品のテーマ：空間の目的、季節性など
- ・ 作品の配置：鑑賞空間の適正さ、空間と作品のサイズ、設置高さ
- ・ 照明（明るさ）：太陽光の影響、部屋の明るさ、美術品用の照明器具、反射（グレア）

【保護対策】

- ・ 温度：美術作品が展示される鑑賞空間において温度は冬期 20℃、夏期 26℃程度、中間期は 22～23℃程度で推移することが推奨されます。極端な温度変化や、低温や高温の継続する状況には注意が必要です。
- ・ 湿度：湿度は年間を通じて相対湿度 55～60%程度に保たれていることが理想です。湿度変化が大きい空間に作品が存置されると、画材や基材の伸縮によりひび割れなどの劣化が促進されます。
- ・ 照度：あらゆる光が作品を劣化させます。特に紫外線と赤外線には注意が必要です。外光をできるだけ遮断した環境で、紫外線カットや明るさの調整が可能な照明器具により光環境を制御した公開が重要となります。
- ・ 額装など：アクリルパネルで画面の保護を行うことにより、塵埃および接触による毀損を回避すると共に、ある程度の紫外線カット効果も得られます。低反射や無反射アクリルパネルを使用することで、更に確実な紫外線カットが可能となり、絵画の視認性が抜群に向上します。ガラス板は重量がありかつ割れるリスクがあり、破損した場合には絵画だけでなく人への危険も考えられるため、額装には使用しないことが望ましいです。小型ケースなどにガラス板が使用されている場合には、保護フィルムを貼るなどの破損対策が推奨されます。また、額装により外気のある程度遮断することが可能となり、調湿紙や調湿システムを採用することで作品の保護性能の向上が期待できます。
- ・ 有害生物対策：カビの発生、虫喰いなどへの対策を行います。特に食堂など飲食空間での公開には一定のケアが必要になります。
- ・ 展示の制限：定期的な展示替えにより作品のコンディションを整えることにより、展示により避けられない光や温湿度変化等による作品の劣化速度を抑制することが可能です。

1-2. 現況

【見せ方】

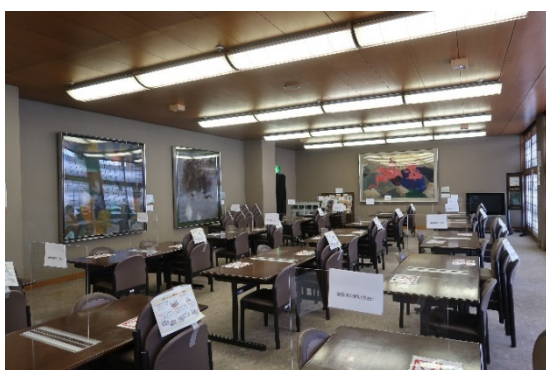
- ・ホールやホワイエ等で展示されている絵画作品は、観劇空間に気品と彩りを添える美術品として、非常に効果的に展示されています。
- ・2～3階ホワイエやギャラリーでの展示では専用の照明器具が使用され、概ね一定の明るさが保たれていますが、絵画全体への均質な配光や照度において改善の余地があります。
- ・2階お休み処、お食事処での展示では、額装前面アクリルへの照明と外光の映り込みが激しく、鑑賞に適した光環境とは言い難く、改善の余地があります。
- ・小劇場1階入口ホールでの展示では、外光と照明器具による光で作品が照らし出されています。こちらでも前面アクリルへの外光の映り込みにより、作品画面が見えにくい状態になっています。夜間の方が鑑賞に適した状況と考えられます。



大劇場2階・3階ギャラリー 全景



大劇場2階ギャラリー 全景



大劇場2階お休み処 全景



小劇場1階入口ホール 全景

【保護対策】

- ・適正湿度に関して何れの場所も一般空調下（開館時間での温調のみ）での展示になっており、作品保護への配慮は特にされておらず好ましい状況とは言えません。
- ・照度に関して、絵画中心部の明るさが一般的な美術館における照射照度である 150lx 程度に概ね調整されています。
- ・ただし、一部のスポットライトに強い熱を持つビーム球が使用され、照度に関しても 6000lx を超えるところもあり、熱焼けなどが発生する可能性が懸念されます。
- ・また一部に前面アクリルパネルが装備されていない額装があり、特に食堂においては油煙などにより汚れやすく、塵埃も湿気や油気を有していることがあり変色や変質が危惧されます。



小劇場 1 階上手側廊下（ビーム球スポットライト）



大劇場 2 階お食事処（露出展示箇所）

1-3. 新施設での改善対策および環境整備与件等

- ・演劇の最高位のホールである国立劇場において高品位な美術作品を鑑賞する機会が得られることは、とても有意義であると言えます。特に日本画家の秀作揃いである国立劇場のホワイエや休憩空間は、独特の空間となっています。一方で、大規模劇場のホワイエなどで美術作品、特に絵画が展示されることは、天井画、壁画などの固定的なものを除いては必ずしも多くない様です。彫刻などを除いて、その維持管理の難しさが一因と思われます。
- ・秀逸な絵画作品を多く保有する国立劇場において最も望ましいと思われるのは専用の展示スペース（ギャラリー）やケースを設置することで、年間を通じて安定した環境を獲得出来ることから、維持管理の簡便化が可能となります。専用の展示スペースを設ける場合には、オートドアで空間を仕切り調湿が可能な空調設備の導入が望まれます。また、この区画を防火防犯区画とすることにより、火災や大規模災害時の財産保全上の安全区画とすることが可能となります。

- ・飲食の空間においても、少し暗転した空間の壁面にガラスで区画（ケース）した壁を設けて絵画を展示することで美術作品を安全に活用することが可能となり、展示される絵画により「華やかさ」「躍動感」「格調・厳粛さ」などの演出が可能となります。
- ・湿度環境の改善対策としては、密閉性が高く調湿に配慮した額装にする方法も考えられます。ただし、環境の影響は大きいいため、併せて極端な乾燥および多湿の環境を回避する対策は必要になります。
- ・前面アクリルカバーへの映り込み対しては、額装の点検、新施設整備までに現在の普通アクリルを低反射もしくは無反射アクリルに交換することが望まれます。
- ・美術作品を見やすくするために、適切な照明計画を行い、見合った器具が望まれます。具体的な対策としては、口径の大きいスポットライトの採用や、フィルターレンズの採用が考えられます。
- ・美術作品用照明器具の RA 評価値（正しい色で見える度合いを示す数値。100 を最高とする。）は、90 以上が望ましく近年では 95 程度を目指すのが望ましいと言えます。現状は 90 を下回っているため、再整備の時期に合わせて照明器具を更新することが望まれます。

2. 収蔵庫の保存環境に関して

2-1. 概論（収蔵庫内の望ましい環境）

- ・一般の室内空気や外気の影響を受けないように、前室を設けて独立した環境を構築します。
- ・独立した空調設備システムにする必要があり、特に湿度の安定を重視したシステムとします。
- ・給気に関して室内気流の均一性が取れる様に給気口、還気口の配置、システムを整えます。
- ・建築的な対応として断熱性の高い空間とします。
- ・和様の工芸品、絵画などの作品は、相対湿度 55～60%で維持する事が望まれます。
- ・フィルム、磁気テープなどの記録媒体は、換気下の低温、低湿での保存が望まれます。
- ・有害生物防除管理（IPM）を実施しやすいように、床面の清掃が安易な什器形状、温湿度モニタリング(空調設備付属のものとは別の温湿度計等による相互確認が有効)に配慮した計画とします。

2-2. 現況

- ・額装品、錦絵、工芸、フィルム等資料区分ごとのゾーニングと収納方法（形状）は確立され整理されています。
- ・収蔵庫の容量に対してほぼ満載状況でこれ以上の収集においては別途配慮が必要です。
- ・映画フィルム資料に関しては、1950年代くらいまでのナイトレートフィルムが含まれる場合には、高温多湿による経年変化により発火の危険性があり嚴重に注意が必要です。また、それ以降の写真を含むフィルムにおいても、高温多湿下において加水分解を起こす事が知られており、酸っぱい臭いが発生し始めると画面が消失するなど貴重な映像や画像が損なわれることになるので注意が必要です。
- ・基本的にフィルム資料は、独立した空間で低温、低湿下で保存する必要があり、現状は好ましい状況とは言えません。早期に別空間にてフィルムを保存することが望まれます。



3階収蔵庫（記録フィルム収蔵棚）



3階収蔵庫（記録VTR収蔵棚）



3階収蔵庫（記録VTR収蔵棚）

2-3. 新施設での改善対策および環境整備与件等

- ・公開中の作品や現在収蔵されている資料、今後増える可能性のある資料の総量（法量）を正確に把握して、必要空間の算定を行うことが望まれます。施設の再整備計画に保存環境の必要空間を盛り込み、将来に向けた実行性のある環境整備が望まれます。
- ・フィルム資料は現状において劣化を待つばかりの状況であり、国立近代美術館のフィルムセンターや国立国会図書館へ寄託するなど、前項の計画時に独立した空間として整備することが望まれます。
- ・フィルム資料の適切な保存は、0°Cに近い低温かつ乾燥した空間に存置することが望ましいことから、仮に新施設で整備出来たとしても維持管理において専門のスタッフや取り扱いに精通した学芸員等が必要になります。専門の学芸員の配置が難しい場合は、専用の収蔵空間を有する施設に寄託することが最も相応しいと考えられます。
- ・収蔵管理は情報管理的な側面があり、特に映像や写真媒体、音源などは無形の文化を記録する情報としての価値が高く、取り出せない情報とならないように紐づける手立てが必要になります。

3. 美術品等の維持管理に関して

3-1. 概論

- ・美術品の維持管理に当たっては、定期的に作品の状態確認（コンディションチェック）を行う必要があります。
- ・美術品の状態確認は、修復家などの専門家、美術館の対象分野担当学芸員に依頼します。
- ・額装は、作品の保護、美観、固定の為に重要な役割を果たし、それぞれ作品のグレードに合わせて機能を充実させることが望まれます。保護に関しては密閉性や調湿性、防カビ、紫外線カット、画面保全など、美観に関しては低反射や無反射、作品に見合った装丁など、固定に関しては防犯性、地震や接触による落下防止などに優れた機能性を発揮する仕様が考えられます。

3-2. 現況

- ・現状では、美術品専門の学芸員が不在となっています。
- ・昭和を代表する作家の作品らしくオリジナルの額装が専門業者により為されています。
- ・ほぼ掛け替えが行われず、休ませることがない状況においては、額装の気密と調湿性能を向上させる必要が感じられます。
- ・前面アクリルパネルは、寄贈時の仕様（当時存在しなかった無反射や低反射の仕様になっていない）のため、紫外線カット性能がやや劣り、何よりもパネルへの映り込みにより作品の良さが損なわれています。

3-3. 改善対策

- ・美術作品に関して、国立近代美術館と何らかの提携を行い作品管理の補助を行って貰う事を模索しては如何でしょうか。

※先方の都合もありますので、現状ではあくまでもアイデアレベルの話になりますが、作品の価値、質から考えても同様の作品を多く保有し知見のある国立近代美術館と提携など何らかの関係を構築することが良いと考えられます。

- ・評価額の高い作品、制作年が古い作品などから額装のリニューアルを開始して、アクリルの交換、調湿性能の付加を行っては如何でしょうか。

4. 整備事業実施時における美術品等の扱いに関して

- ・美術品を有する施設にとって、大規模改修などの時に作品の取り扱いをどの様にするか考える必要があります。特に作品の評価（額）が高いものに関しては、毀損することによって価値が大きく下がるだけで無く、高額な修復費用も発生します。高名な作家、優れた美術作品を保有することは、高価な資産を保有するという意味だけで無く、作品を継承していく（社会的な）責任も生じていると言えます。
- ・文化財が毀損される最も多いきっかけの一つに移動が挙げられます。特に移動行為は、破れ、画材の剥落など際立つ毀損が発生する可能性があり、嚴重に気を付ける必要があります。移動時には、美術品専門の運搬業者に依頼することが一般的です。
- ・施設の整備事業実施時には、上記のことから可能な限り移動距離が少なく済むように配慮を行います。本件では、既存施設が残らないため、他所への一時退避が不可避であり、この時の移動の安全性を考慮することになります。
- ・敷地内や隣接地などに仮設収蔵庫を建設する、耐火耐震機能を備えた近隣施設を改修して仮設収蔵庫化して整備事業中の保管先とすることや、近隣の美術館や博物館に一時寄託する、近隣の美術品専用倉庫（民間）に預けることが必要になります。
- ・何れも高額な費用が発生することから、早い段階で計画を開始し、時間を掛けて入念な準備を行う事が望まれます。

絵画等設置環境確認リスト

下記の参考資料と現地調査(20210531)を基に作成。NOは任意で設定し、複数作品をまとめた行は「」として別途記載。
 (参考資料) 1 「6.国立劇場所蔵絵画等一覧」(20210525受領) / 2 「鏡獅子」(20210525受領) / 3 「国立劇場ギャラリー一覧」(20210531受領) / 4 「経団連寄贈絵画等一覧」(20210615受領) / 5 「20180315_【長谷川昇】作品リスト」(20210615受領)

作品概要					展示環境の概要 (2021.5.31現地調査結果等)						
NO	展示場所	作者名	作品名	写真(1)	展示現況写真	照度 [lx]	演色性 [Ra]	照明器具 / 外光の有無	額装カバー等	額装寸法等 (絵画本体寸法)	備考
1	大劇場1階ロビー中央	(ひらくしてんちゅう) 平櫛 田中	鏡獅子			-	-	ベース照明のみ 外光あり (ホールの東面ガラス建具より間接光)	ケース内に展示	・資料寸法(受領資料 2より) 2,320×2,460×1,820 (台座含む) 2,060×1,760×1,220(像) ・ケース寸法(実測値) W3159 D2514 H2610 /展示ケース内床H460	・気密ケースにて展示 ・調湿材(アートソープ)年1回入替有
2	小劇場1階ロビー(出入口付近)	(もりたこうへい) 森田 曠平	(ひらかなせいすいき) ひらかな 盛衰記(笹引の段)			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト) 外光あり (ホールの東面ガラス建具より間接光)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 2720×1650(2410×1340)	
3	小劇場1階ロビー(出入口付近)	(かとうえいぞう) 加藤 栄三	(らいじんず) 雷神図			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト) 外光あり (ホールの東面ガラス建具より間接光)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 1520×2030(1420×1930) /120号	
	小劇場1階ロビー(出入口付近)	(おくらとぎゅう) 奥村 土牛	(ぶんらくこそこのあき) 文楽(去年の秋)			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト) 外光あり (ホールの東面ガラス建具より間接光)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 460×560(310×420) ・額寸法(実測値) W460 H560 D19	
4	小劇場1階ロビー(上手側)	(かとうしんめい) 加藤 展明	(しろいふく) 白い服			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 1385×1890(1100×1610) /100号	・絵画上部の照度が高い (スポットライトの角度等調整要)
	小劇場1階ロビー(中央)	(はせがわのぼる) 長谷川 昇	(役者絵3点)			-	-	ベース照明のみ 外光あり (ホールの東面ガラス建具より間接光)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 5より) 20号、25号、30号	・長谷川昇作品は別途ギャラリー、収蔵庫にも多数有り 左記、複数作品の中から平均と思われる箇所を測定
6	大劇場2階特別室前(下手側)	(あさくらふみお) 朝倉 文夫	九代目市川團十郎之像			-	-	ベース照明のみ	-	・台座寸法(実測値) W500 D510 H1280/全体H1957	・台座木部にひび割れあり ・台座の固定なし (転倒防止策要検討)

NO	展示場所	作者名	作品名	写 真(1)	展示現況写真	照度 [lx]	演色性 [Ra]	照明器具 / 外光の有無	額装 カバー等	額装寸法等 (絵画本体寸法)	備 考
7	大劇場2階 特別室前 (下手側)	(あさくらふみお) 朝倉 文夫	五代目 尾上菊五郎之像			-	-	ベース照明のみ	-	同上	同上
8	大劇場2階 特別室前 (下手側)	(あさくらふみお) 朝倉 文夫	初代 市川左團次之像			-	-	ベース照明のみ	-	同上	同上
9	大劇場2階 特別室前 (下手側)	(とみたた(み) 富田 匠美	十五代目 市村羽左衛門之像			-	-	ベース照明のみ	-	同上	同上
	大劇場2階 特別室内	(すずきすいけん) 鈴木 翠軒	(すがわらでんじゅ てならいかがみ) 菅原傳授手習鑑 (書)			-	-	ベース照明のみ 特別室利用時 照明ON 外光あり(障子付窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 2125×1230(1850×950) /120号	
10	大劇場2階 特別室内 (控室)	(いとうしんすい) 伊東 深水	(たきのしらいと) 滝の白糸			-	-	ベース照明のみ 特別室利用時 照明ON 外光あり(障子付窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 1394×1254(1150×1010) /50号	
	大劇場2階 お休み処内	(たかやまたつお) 高山 辰雄	(ひる) 昼			-	-	ベース照明のみ 外光あり(障子付窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1855×1855(1730×1729)	
	大劇場2階 お休み処内	(あさだべんじ) 麻田 辨自	(ぬま) 沼			-	-	ベース照明のみ 外光あり(障子付窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1763×1915(1516×1667) /99号	
	大劇場2階 お休み処内	(かやまたつぞう) 加山 又造	(べにづる) 紅鶴			(上部) -	(上部) -	ベース照明のみ 外光あり(障子付窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 2672×1772(2440×1499)	
						(中心) 250	(中心) 85				
						(下部) -	(下部) -				

NO	展示場所	作者名	作品名	写 真(1)	展示現況写真	照度 [lx]	演色性 [Ra]	照明器具 / 外光の有無	額装 カバー等	額装寸法等 (絵画本体寸法)	備 考
	大劇場2階 ギャラリー	(かたやまなんぶう) 堅山 南風	(こい) 鯉			- 70~150 -	- 89 -	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1701×1864(1410×1550) /79号	
	大劇場2階 ギャラリー	(かばたりゅうし) 川端 龍子	(てんきょうず) 天橋 図			- 30~120 -	- 89 -	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1690×2656(1454×2420) /149号	・スポットライトとの位置関係上、 上部の照度が高い
	大劇場2階 ギャラリー	(かぶらきよかた) 鍋木 清方	(のざきむら) 野崎 村			162 139 49	- 90.5 -	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1244×1864(950×1570) /99号	
	大劇場2階 ギャラリー	(おのちつきょう) 小野 竹喬	(ざんしょう) 残 照			198 120 48	93 92.9 91.8	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1612×1125(1385×890) /79号	
	大劇場2階 ギャラリー	(なかむらがくりょう) 中村 岳陵	(はなといぬ) 花と犬			160 106 31.6	90.7 89.4 87.3	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1340×1580(1072×1315) /59号	
	大劇場2階 ギャラリー	(かなしまけいか) 金島 桂華	(とうでん) 冬 田			- 92 34.7	- 88.6 84	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1877×2272(1656×2054) /119号	
	大劇場2階 ギャラリー	(おぐらゆき) 小倉 遊亀	(つき) 月			- 133 44	- 89.5 82	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1640×2070(1460×1890) /119号	
	大劇場2階 ギャラリー	(やまぐちほうしゅん) 山口 蓬春	(はなしょうぶ) 花高 蒲			- 118 -	- 90 -	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1218×926(908×616) /29号	

NO	展示場所	作者名	作品名	写 真(1)	展示現況写真	照度 [lx]	演色性 [Ra]	照明器具 / 外光の有無	額装 カバー等	額装寸法等 (絵画本体寸法)	備 考
	大劇場2階 ギャラリー	(こだまきぼう) 児玉 希望	(はなとぎんけい) 花と銀鷄			-	-	ベース照明 スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1497×1737(1210×1450) /79号	
					111	90.9					
					71.9	88.9					
	大劇場2階 ギャラリー	(いとうしんすい) 伊東 深水	(むすめどうじょうじをおどる あずまとくほ) 娘道成寺 を踊る 吾妻徳穂			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1236×2046(970×1780) /99号	
					95.4	90					
					36.3	87.5					
	大劇場2階 ギャラリー	(うえむらしょうこう) 上村 松篁	(はどのにわ) 鳩の庭			-	-	ベース照明 スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 2280×1580(2035×1330) /119号	
					133	94					
					38	93.1					
	大劇場2階 ギャラリー	(はまだかん) 浜田 観	(ふよう) 芙蓉			-	-	ベース照明 スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 2334×1754(2092×1512) /149号	
					279	89.1					
					40.8	89.9					
	大劇場2階 ギャラリー	(はしもとめいじ) 橋本 明治	(よくしつ) 浴室			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1314×1906(1026×1618) /99号	
					88.7	90.3					
					38.3	85					
	大劇場2階 ギャラリー	(すぎやまやすし) 杉山 寧	(ばく) 瀑			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1898×2053(1700×1860) /119号	
					143	89.5					
					142	83.8					
	大劇場2階 ギャラリー	(ひがしやまかいり) 東山 魁夷	(せつげんぶ) 雪原譜			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 2325×1762(2130×1570) /149号	
					61	88.7					
					51.9	88.2					
	大劇場2階 ギャラリー	(やまだしんご) 山田 申吾	(くも) 雲			-	-	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 2130×1570(1830×1270) /119号	
					89.7	91.2					
					21.3	81.9					

NO	展示場所	作者名	作品名	写真(1)	展示現況写真	照度 [lx]	演色性 [Ra]	照明器具 / 外光の有無	額装 カバー等	額装寸法等 (絵画本体寸法)	備考
	大劇場2階 ギャラリー	(にしまひでお) 西山 英雄	(ちょうえい さくらじま) 朝映桜島			- 99.7 63.7	- 89.6 88.3	ベース照明 + スポットライト (ライティングダクト)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 3、4より) 1698×1970(1396×1667) /99号	
32	2階食堂内	(たじまなすみ) 田島 なす美	(まなつの よのゆめ) 真夏の夜の夢			- 121 -	- 84.5 -	ベース照明のみ 外光あり (壁面上部採光窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 1900×2550(1650×2300) /150号	
33	2階食堂内	(そめやひろみち) 染谷 祐通	(にんなじもん) 仁和寺門			- 108 -	- 85 -	ベース照明のみ 外光あり (壁面上部採光窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 1900×2300(1700×2100) /150号	
34	2階食堂内	(みしょうしん) 御正 伸	(ださいふしょう) 太宰府抄			- 113 -	- 86.6 -	ベース照明のみ 外光あり (壁面上部採光窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 2560×2105(2260×1805) /150号	
35	2階食堂内	(なかじまきよし) 中島 清之	(あしずり) 足摺			- 130 -	- 86.8 -	ベース照明のみ 外光あり (壁面上部採光窓)	アクリル付	・資料寸法(受領資料 4より) 1780×2225(1500×1945) /120号	
36	2階食堂内	(どばしじゅん) 土橋 醇	(ながれるほし) 流れる星 (銅版画)			- 156 -	- 85.2 -	ベース照明のみ 外光あり (壁面上部採光窓)	露出 (アクリル無)	・資料寸法(受領資料 4より) 1452×1782(1300×1630)	
	2階食堂内 特別室	作者名なし	(赤富士)			- 240 -	- 90.3 -	ベース照明のみ 特別室利用時のみ 照明ON 外光あり (壁面上部採光窓)	アクリル付	・額寸法(実測値) W1070 H940 D69	・受領リストに記載なし
	大劇場3階 ギャラリー	(はせがわのぼる) 長谷川 昇	(役者絵14点)			- 98.9 -	- 90.7 -	ベース照明 + スポットライト (フィルター付、 ライティングダクト)	アクリル付と 無が混在 (半々程度)	・10～20号(受領資料 5より)	・長谷川昇作品は別途ギャラ リー、収蔵庫にも多数有り 左記、複数作品の中から平均 と思われる箇所を測定

②絵画等設置環境確認キープラン

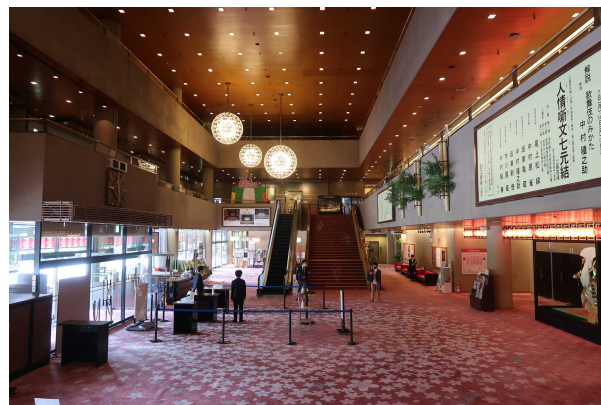
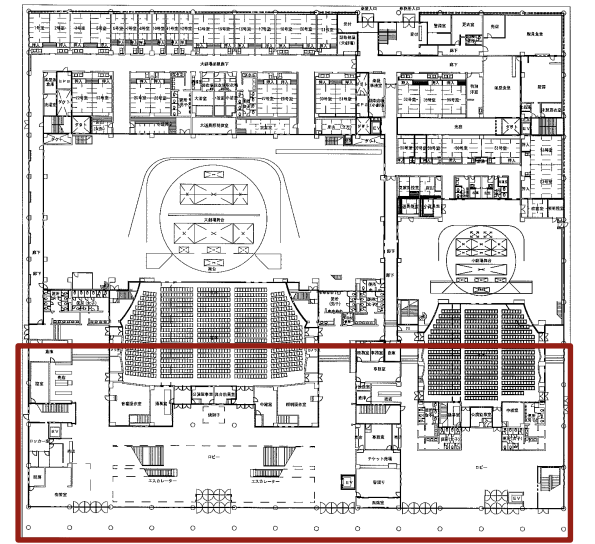
1階 | 大劇場ロビー・小劇場ロビー

絵画等作品一覧表

No	作者	作品名	額装寸法 カッポ内資料寸法	号数	展示場所
1	ひらし けんちゅう 平櫛 田中	鏡獅子	ケース寸法(実測値) W3159 × D2514 × H2610	-	大劇場1Fロビー
2	もりた こうへい 森田 曠平	ひらがな盛衰記(笹引の段)	2720 × 1650 (2410 × 1340)	-	小劇場1Fロビー
3	かとう えいぞう 加藤 栄三	雷神図	1520 × 2030 (1420 × 1930)	120	小劇場1Fロビー
4	おくむら ときゅう 奥村 土牛	文楽(去年の秋)	460 × 560 (310 × 420)	-	小劇場1Fロビー
5	かとう しんめい 加藤 晨明	白い服	1385 × 1890 (1100 × 1610)	100	小劇場1Fロビー
	はせがわ のぼる 長谷川 昇	阿古屋	-	20	小劇場1Fロビー
	はせがわ のぼる 長谷川 昇	松王	-	30	小劇場1Fロビー
	はせがわ のぼる 長谷川 昇	弁慶	-	25	小劇場1Fロビー

別紙1

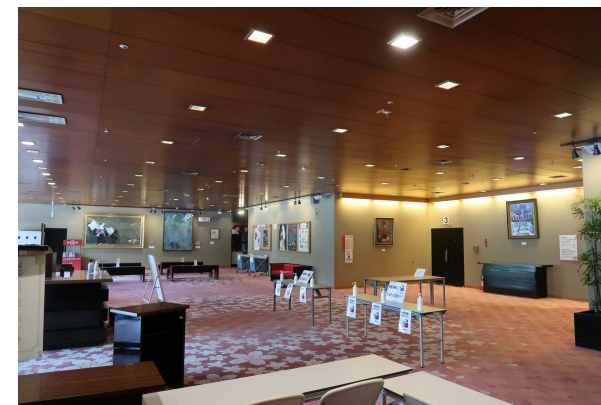
KEYPLAN | 1階平面図



大劇場1階ロビー 全景



大劇場1階 鏡獅子

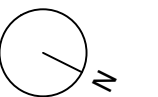
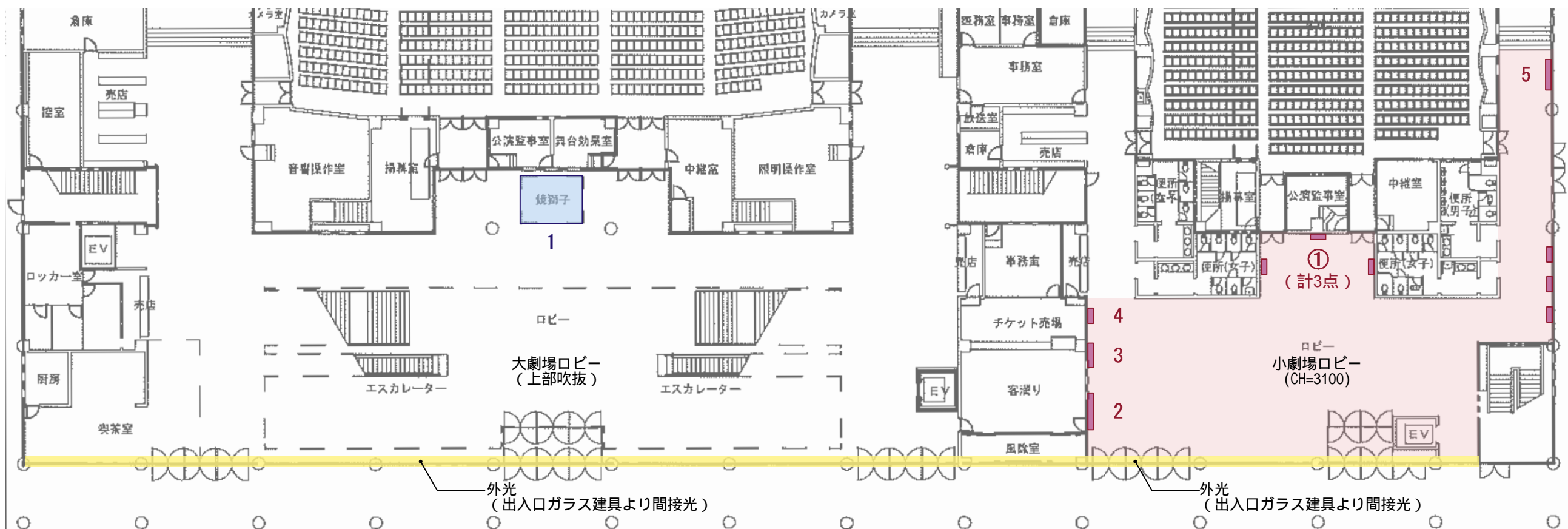


小劇場1階ロビー 全景



小劇場1階ロビー(上手側) 全景

展示キープラン



1F平面図(抜粋)
S=1:300

2階 | 大劇場特別室・控室・お休み処・ロビー・食堂・食堂内特別室

KEYPLAN | 2階平面図



展示キープラン



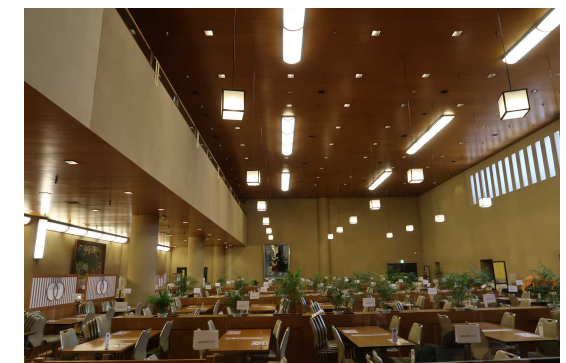
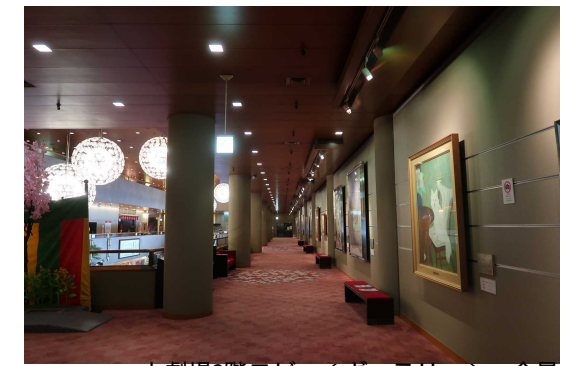
2F平面図 (抜粋)
S=1:300

絵画等作品一覧表

別紙1

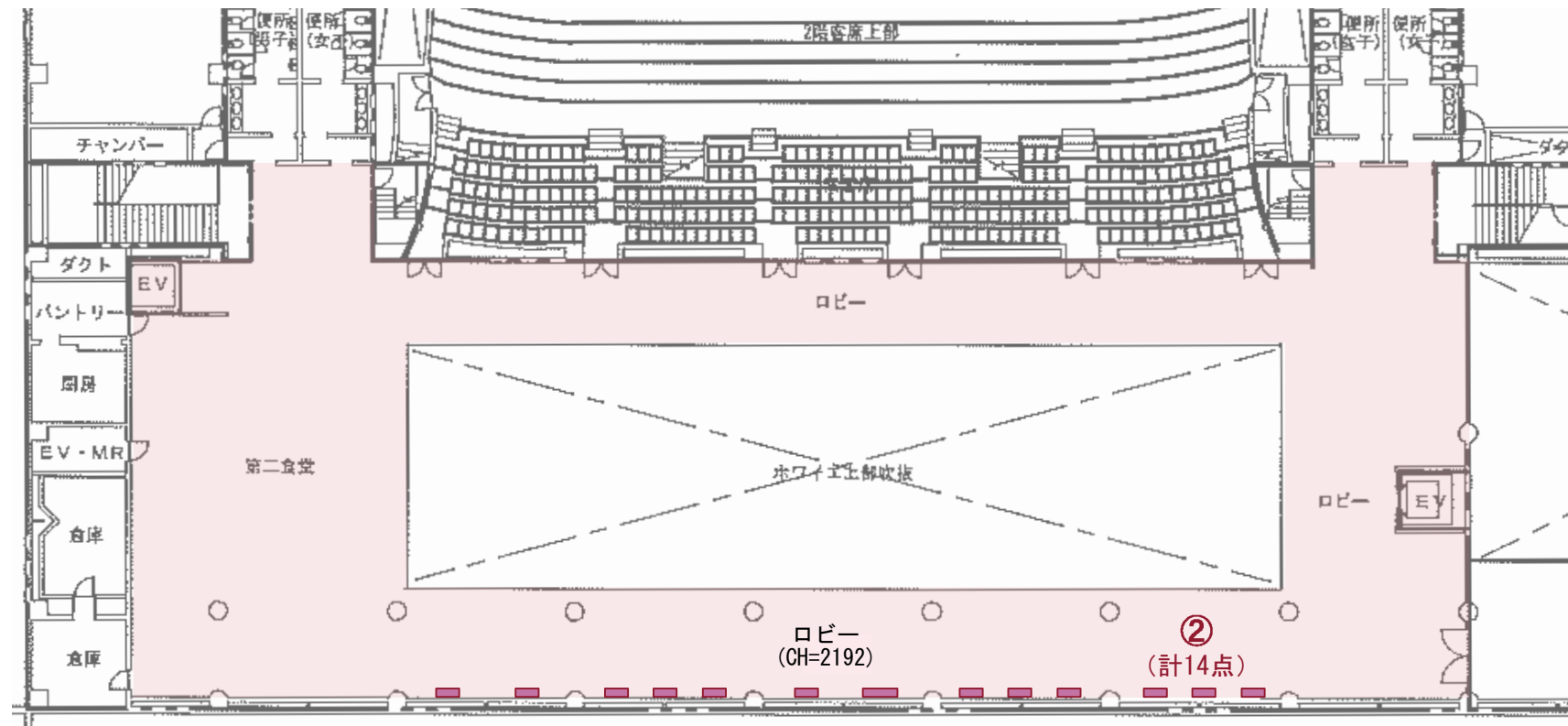
No	作者	作品名	額装寸法 カッコ内資料寸法 (台座寸法・実測値)	号数	展示場所
6	朝倉 文夫	九代目 市川團十郎之像	W500 D510 H1280/全体H1957	-	大劇場2F特別室前
7	朝倉 文夫	五代目 尾上菊五郎之像	同上	-	大劇場2F特別室前
8	朝倉 文夫	初代 市川左團次之像	同上	-	大劇場2F特別室前
9	富田 匠美	十五代目 市村羽左衛門之像	同上	-	大劇場2F特別室前
10	鈴木 翠軒	菅原傳授手習鑑	2125 × 1230 (1850 × 950)	120	大劇場特別室
11	伊東 深水	滝の白糸	1394 × 1254 (1150 × 1010)	50	大劇場特別室(控室)
12	高山 辰雄	昼	1855 × 1855 (1730 × 1730)	-	大劇場2Fお休み処
13	麻田 辨自	沼	1763 × 1915 (1516 × 1667)	100	大劇場2Fお休み処
14	加山 又造	紅 鶴	2672 × 1772 (2400 × 1500)	-	大劇場2Fお休み処
15	堅山 南風	鯉	1701 × 1864 (1410 × 1550)	80	大劇場2Fロビー
16	川端 龍子	天 橋 図	1690 × 2656 (1454 × 2420)	150	大劇場2Fロビー
17	鍋木 清方	野 崎 村	1244 × 1864 (950 × 1570)	100	大劇場2Fロビー
18	小野 竹喬	残 照	1612 × 1125 (1385 × 890)	80	大劇場2Fロビー
19	中村 岳陵	花 と 犬	1340 × 1580 (1072 × 1315)	60	大劇場2Fロビー
20	金島 桂華	冬 田	1877 × 2272 (1656 × 2054)	120	大劇場2Fロビー
21	小倉 遊亀	月	1640 × 2070 (1460 × 1890)	120	大劇場2Fロビー

No	作者	作品名	額装寸法 カッコ内資料寸法	号数	展示場所
22	山口 蓬春	花 菖 蒲	1218 × 926 (908 × 616)	30	大劇場2Fロビー
23	児玉 希望	花 と 銀 鷄	1497 × 1737 (1210 × 1450)	80	大劇場2Fロビー
24	伊東 深水	娘道成寺を踊る吾妻徳穂	1236 × 2046 (970 × 1780)	100	大劇場2Fロビー
25	上村 松篁	鳩の庭	2280 × 1580 (2035 × 1330)	120	大劇場2Fロビー
26	浜田 観	芙蓉	2334 × 1754 (2092 × 1512)	150	大劇場2Fロビー
27	橋本 明治	浴 室	1314 × 1906 (1026 × 1618)	100	大劇場2Fロビー
28	杉山 寧	瀑	1898 × 2053 (1700 × 1860)	120	大劇場2Fロビー
29	東山 魁夷	雪 原 譜	2325 × 1762 (2130 × 1570)	150	大劇場2Fロビー
30	山田 申吾	雲	2130 × 1570 (1830 × 1270)	120	大劇場2Fロビー
31	西山 英雄	朝 映 桜 島	1698 × 1970 (1396 × 1667)	100	大劇場2Fロビー
32	田島 なず美	真夏の夜の夢	1900 × 2550 (1650 × 2300)	150	大劇場2F第一食堂
33	染谷 祐通	仁和寺門	1900 × 2300 (1700 × 2100)	150	大劇場2F第一食堂
34	御正 伸	大宰府抄	2560 × 2105 (2260 × 1805)	150	大劇場2F第一食堂
35	中島 清之	足摺	1780 × 2225 (1500 × 1945)	120	大劇場2F第一食堂
36	土橋 醇	流れる星	1452 × 1782 (1300 × 1630)	-	大劇場2F第一食堂
37	(不明)	(不明)	W1070 H940 D69	-	大劇場2F食堂内特別室



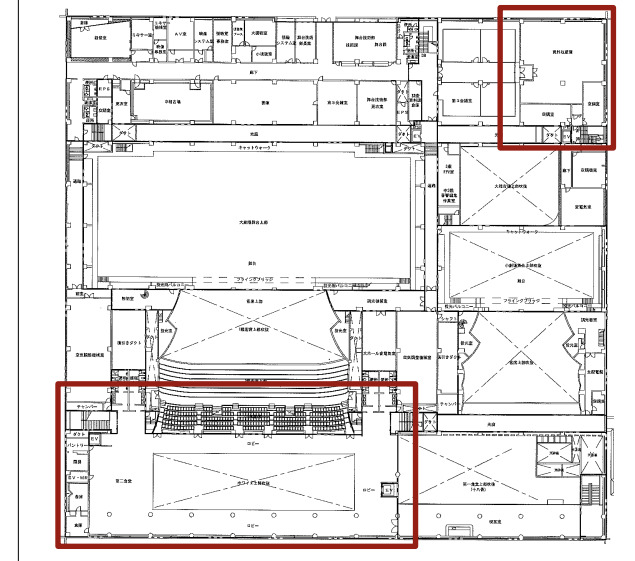
3階 | 大劇場ロビー

展示キープラン



3F平面図 (抜粋)
S=1:300

KEYPLAN | 3階平面図



3階 | 収蔵庫



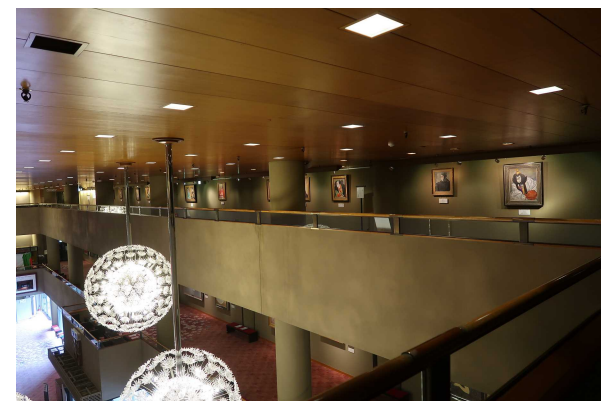
3F平面図 (抜粋)
S=1:300

絵画等作品一覧表 左から右へ展示順

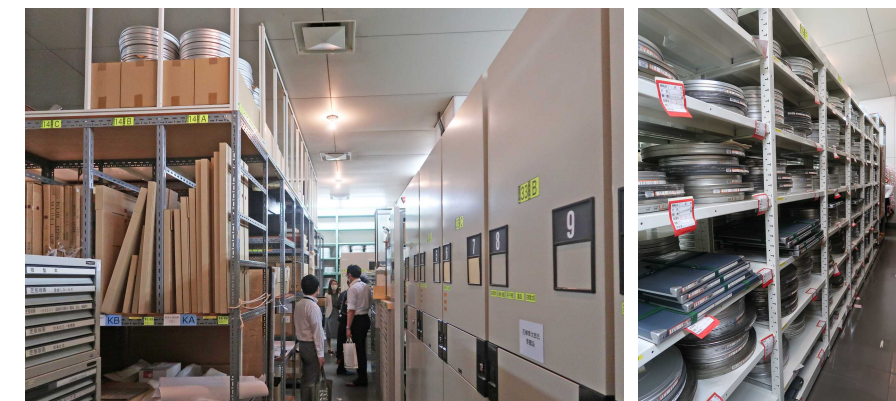
No	作者	作品名/役者名	額装寸法 カッコ内資料寸法	号数	展示場所
1	長谷川昇	押戻 / 三津五郎	-	15	大劇場3Fロビー
2	長谷川昇	お千代 / 雀右衛門	-	10	大劇場3Fロビー
3	長谷川昇	伊右衛門 / 権十郎	-	10	大劇場3Fロビー
4	長谷川昇	与三郎 / 十一世 團十郎	-	12	大劇場3Fロビー
5	長谷川昇	山神 / 七世 福助	-	12	大劇場3Fロビー
6	長谷川昇	藤娘 / 梅幸	-	15	大劇場3Fロビー
7	長谷川昇	名古屋山三 / 三世 左團次	-	15	大劇場3Fロビー
8	長谷川昇	不破伴左衛門 / 十一世 團十郎	-	15	大劇場3Fロビー
9	長谷川昇	成田五郎 / 八百蔵	-	20	大劇場3Fロビー
10	長谷川昇	和田兵衛 / 羽左衛門	-	12	大劇場3Fロビー
11	長谷川昇	戸浪 / 七世 福助	-	15	大劇場3Fロビー
12	長谷川昇	姉輪平次 / 羽左衛門	-	12	大劇場3Fロビー
13	長谷川昇	烏四天 / 八重之助	-	10	大劇場3Fロビー
14	長谷川昇	清原武衛 / 八世 中車	-	20	大劇場3Fロビー



大劇場3階ロビー (ギャラリー) 全景



大劇場3階ロビー (ギャラリー) 全景



3階収蔵庫 全景 3階収蔵庫 フィルム 保管棚